



第3回企業・医療機関・行政連絡調整会議資料

令和6年11月5日（火）17時から
鹿島セントラルホテル 鳳凰の間



目 次

議題 1	令和 6 年度における副会長の再任及び令和 7・8 年度における副会長の選出について・・・	3
議題 2	市内の医療の現状等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
議題 3	課題案件等の取組状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	2 1
議題 4	地域医療シンポジウムの開催結果について・・・・・・・・	3 6
議題 5	産業医体制の充実について・・・・・・・・・・・・・・・・	4 1

議題 1 令和 6 年度における副会長の再任及び令和 7・8 年度における副会長の選出について

副会長選出事務局案

年度	医療機関	企業	備考
R6年度 R6.11.5～ R7.3.31	白十字総合病院	鹿島東部コンビナートの代表者	A G C 株式会社
R 7 年度	神栖済生会病院	西部地区 企業連絡会 の代表者	
R 8 年度			

企業・医療機関・行政連絡調整会議設置規約（一部抜粋）

- 第4条 連絡調整会議に会長及び副会長を置く。
- 会長は、市長とし、副会長は委員の互選により定める。
 - 副会長の任期は2年とし、再任を妨げないものとする。
 - 会長は、会務を総理する。
 - 副会長は、会長を補佐する。
 - 会長に事故があるときは、副会長がその職務を代理する。

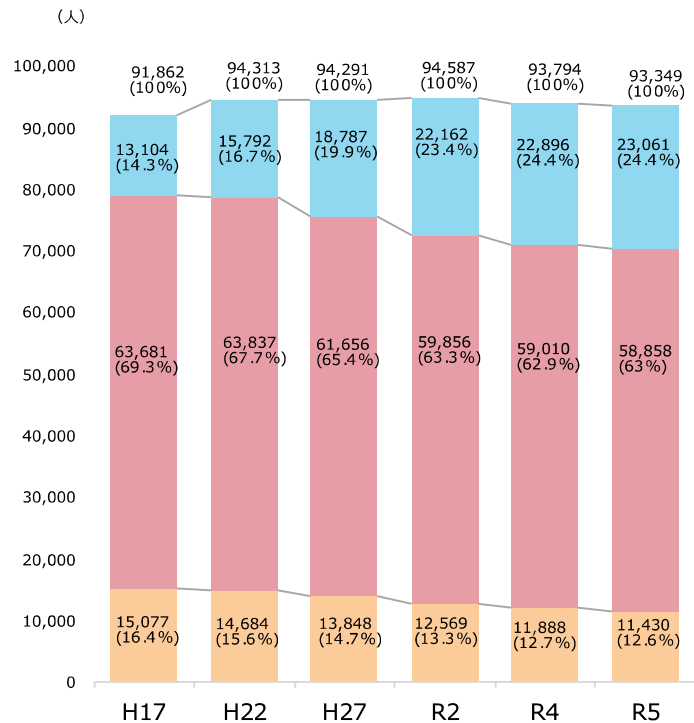
議題 2 市内の医療の現状等について

(1) データから見る市の医療情勢

年齢3区分人口

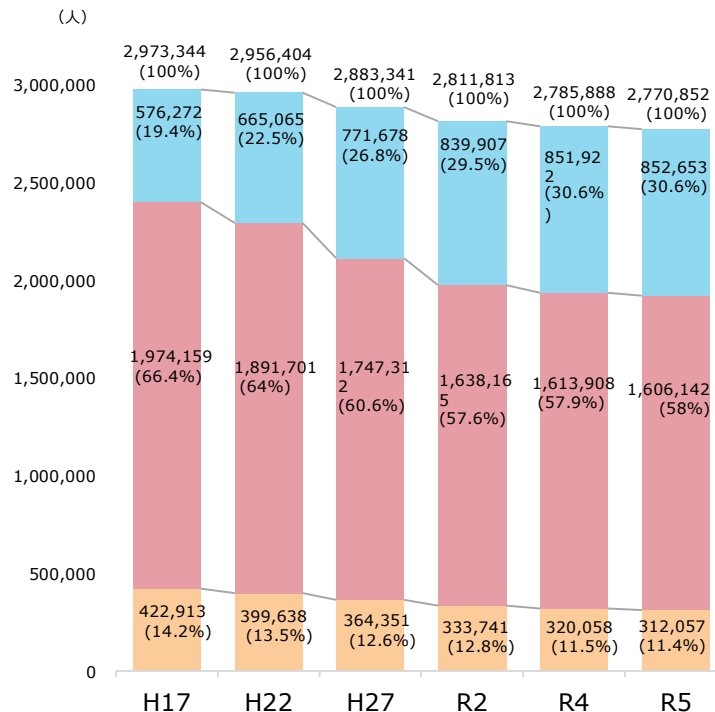
出所：茨城県常住人口調査 茨城県の年齢別人口（10月1日） ※年齢不詳は除く

神栖市



0～14歳 15歳～64歳 65歳以上

茨城県



0～14歳 15歳～64歳 65歳以上

合計特殊出生率

全国・茨城県・神栖市 対比

	H30～R4(今回)	H25～29(前回)
全国	1.33	1.43
茨城県	1.34	1.46
神栖市	1.54	1.66

茨城県内上位

	H30～R4(今回)	H25～29(前回)
1位	神栖市 1.54	鹿嶋市 1.79
2位	つくばみらい市 1.53	東海村 1.71
3位	鹿嶋市、つくば市 1.49	神栖市 1.66

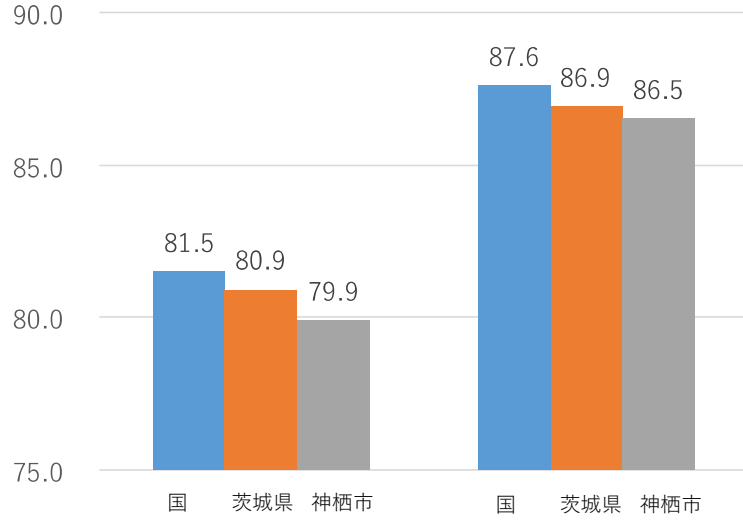
合計特殊出生率：1人の女性が生涯で出産する子どもの数を推定したもの

出典：厚生労働省「平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計の概況」（R6.4.19発表）

平均寿命、主な死因と死亡比

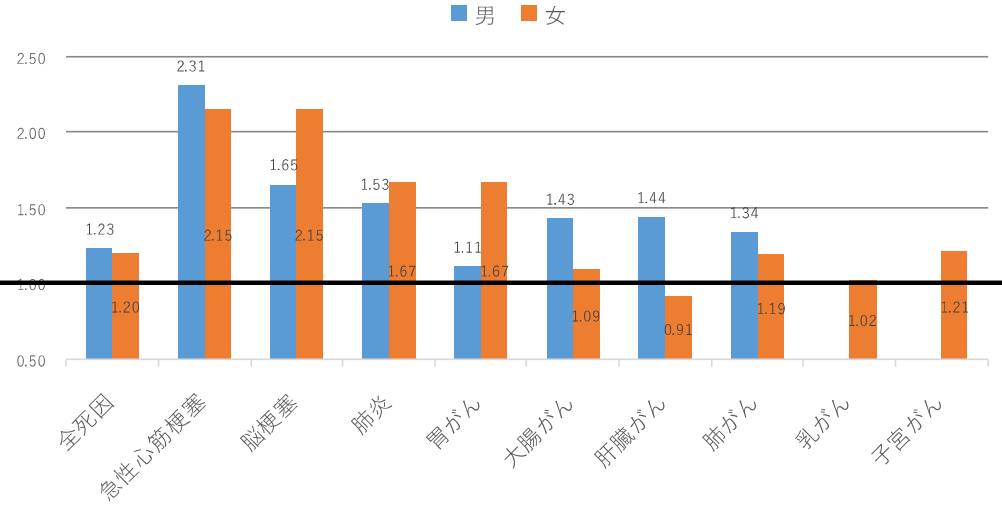
男

女



(出所)
平均寿命：厚労省 市町村別生命表 (R5.5.12公表)

全国 1

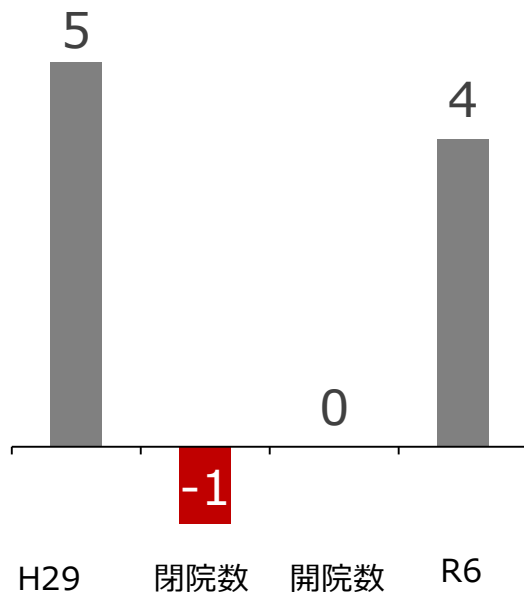


出所：茨城県市町村別健康指標(R5.7)

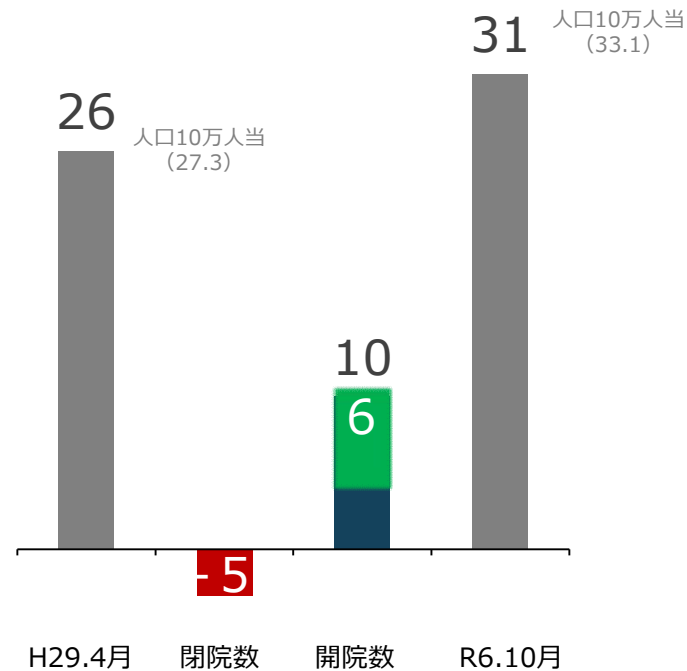
病院・診療所数の推移

(単位：施設)

病院数



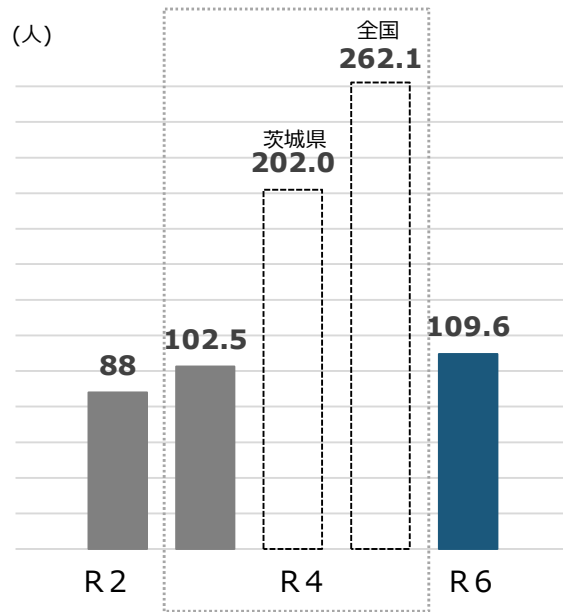
診療所数



■：診療所開業支援制度（R元年～）を活用した数

市内常勤医師数の推移・偏在指数

市内医療施設に従事する常勤医師数 (人口10万人当)



R2・R4 医師・歯科医師・薬剤師調査

R6 コード内容別医療機関一覧 (R6.4.1)

神栖市人オープンデータ 人口 (R6.3月末)

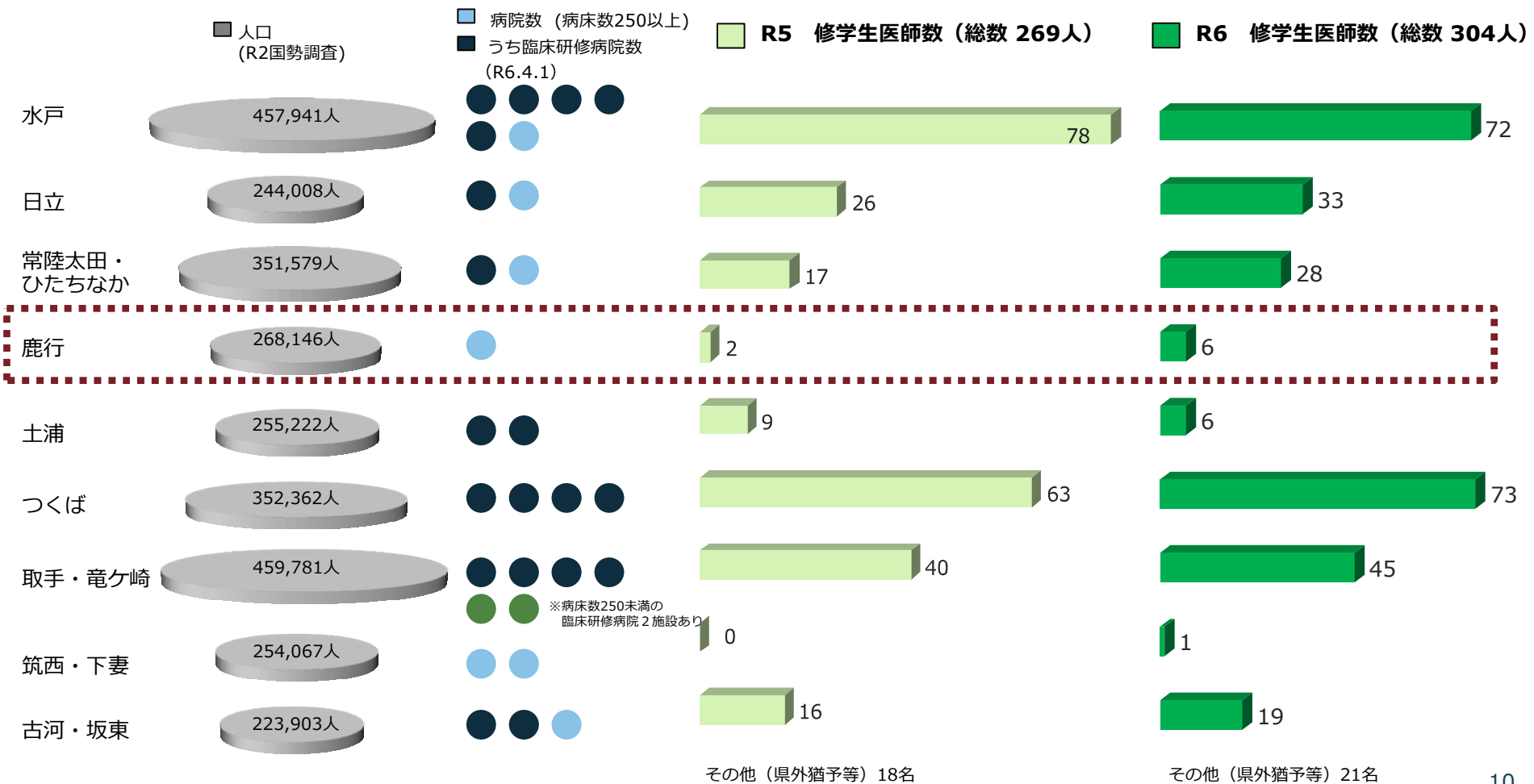
医師の偏在指数

R2 茨城県医師確保計画策定時

R6 茨城県医師確保計画策定時

二次医療圏	医師偏在 指標	全国順位 (全335医療圏)	県内順位 (全9医療圏)	医師偏在 指標	全国順位 (全330医療圏)	県内順位 (全9医療圏)	区域分類
水戸	203.5	100	2	231.2	94 ↗ 6	2	多数
日立	124.9	319	9	140.3	308 ↗ 11	7	少数
常陸太田・ ひたちなか	125.6	317	8	140.3	309 ↗ 8	8	少数
鹿行	130.1	310	5	137.2	315 ↘ -5	9	少数
土浦	183.5	151	3	184.4	204 ↘ -53	3	
つくば	350.3	14	1	337.7	23 ↘ -9	1	多数
取手・竜ヶ崎	159.9	231	4	173.3	235 ↘ -4	4	少数
筑西・下妻	125.9	316	7	153.0	284 ↗ 32	5	少数
古河・坂東	128.4	312	6	148.8	292 ↗ 20	6	少数

茨城県修学生医師の二次保健医療圏別配置状況比較



市修学生の状況

(R6.4.1現在)

医 師

○ 市修学生が、7月から
神栖済生会病院に勤務開始

医師	卒後年数	人数	勤務場所
	6年目	1名	茨城県
	3年目	2名	東京都・岩手県
	2年目	1名	茨城県
	小計	4名	

医学生	学年	人数	在籍場所
	6年生	4名	東京都・青森県・ スロバキア共和国(2)
	4年生	2名	神奈川県・三重県
	1年生	2名	東京都・徳島県
	小計	8名	

合計 12名

看護師

看護師	卒後年数	人数	勤務場所
	4年目	1名	神栖市
	3年目	1名	
	2年目	1名	
	1年目	1名	
	小計	4名	

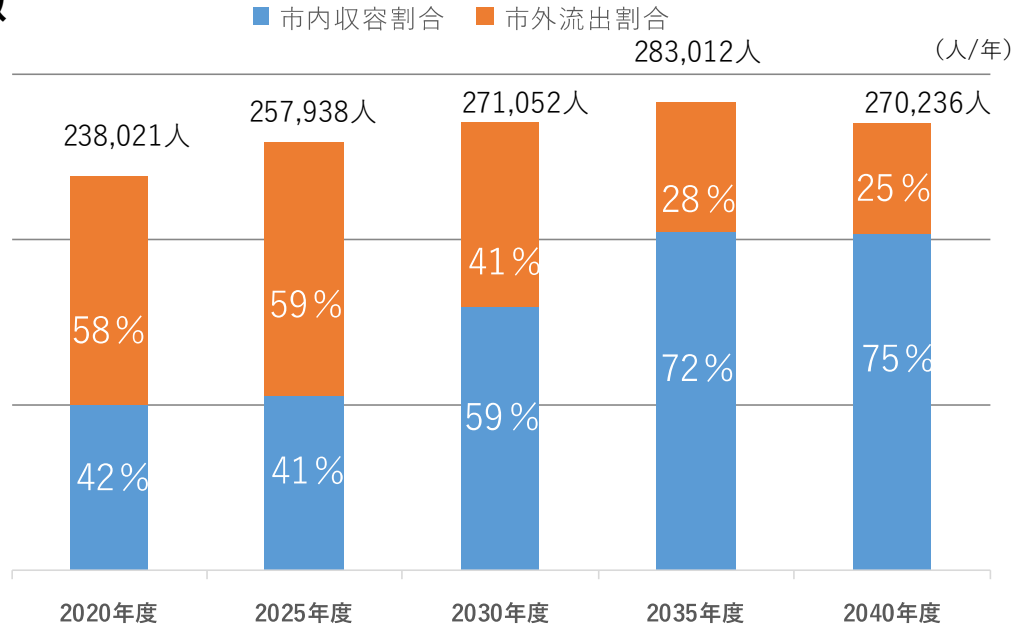
看護学生	学年	人数	在籍場所
	4年生	2名	千葉県
	3年生	1名	千葉県
	1年生	1名	茨城県
	小計	4名	

合計 8名 ※ほか義務履行終了6名

神栖市延入院患者数推計

全 疾 病

総 数

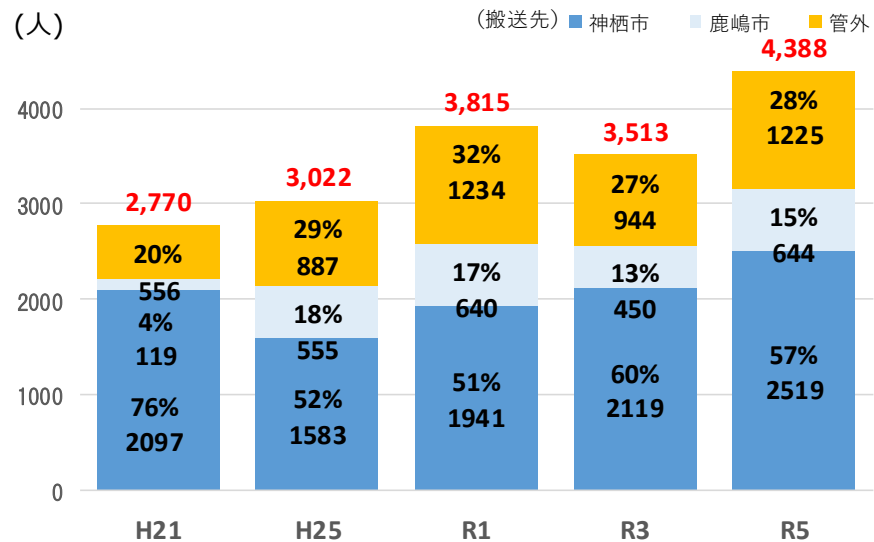


(増床の内訳)

- ・ 白十字総合病院20床提供再開
- ・ 鹿嶋ハートクリニック4床増床
- ・ 2030年度及び2035年度は、神栖済生会病院のファーストステップ56床増床とセカンドステップ115床増床が既に稼働しているものとして試算

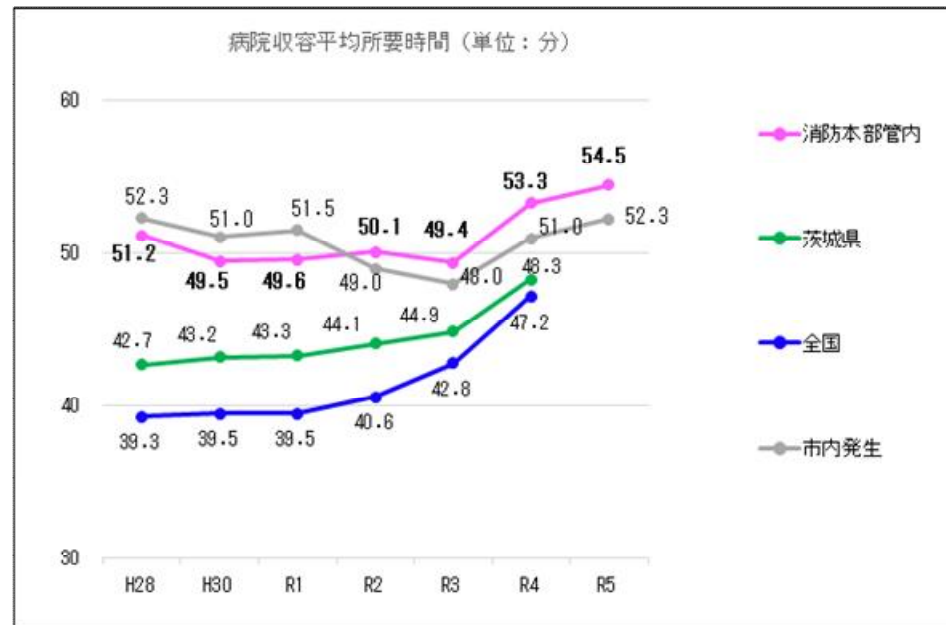
救急搬送データ

神栖市発生 救急搬送患者数（単位：人）



※神栖市内で発生した搬送事案の人数

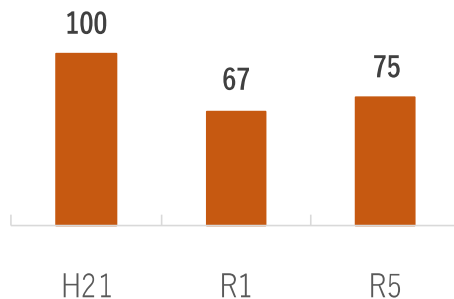
鹿島地方事務組合消防本部管内 救急搬送時間病院平均所要時間



市内受入能力の推移

H21年の市内受入割合を100とした
場合の受入能力の比較

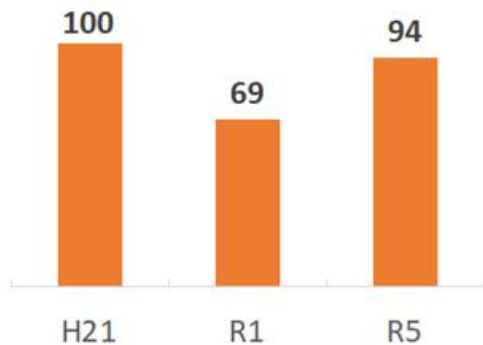
全 体



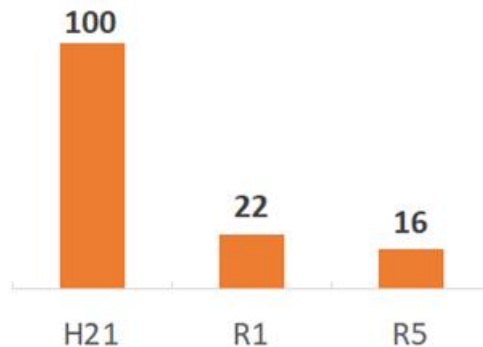
労働災害



心疾患等



脳疾患



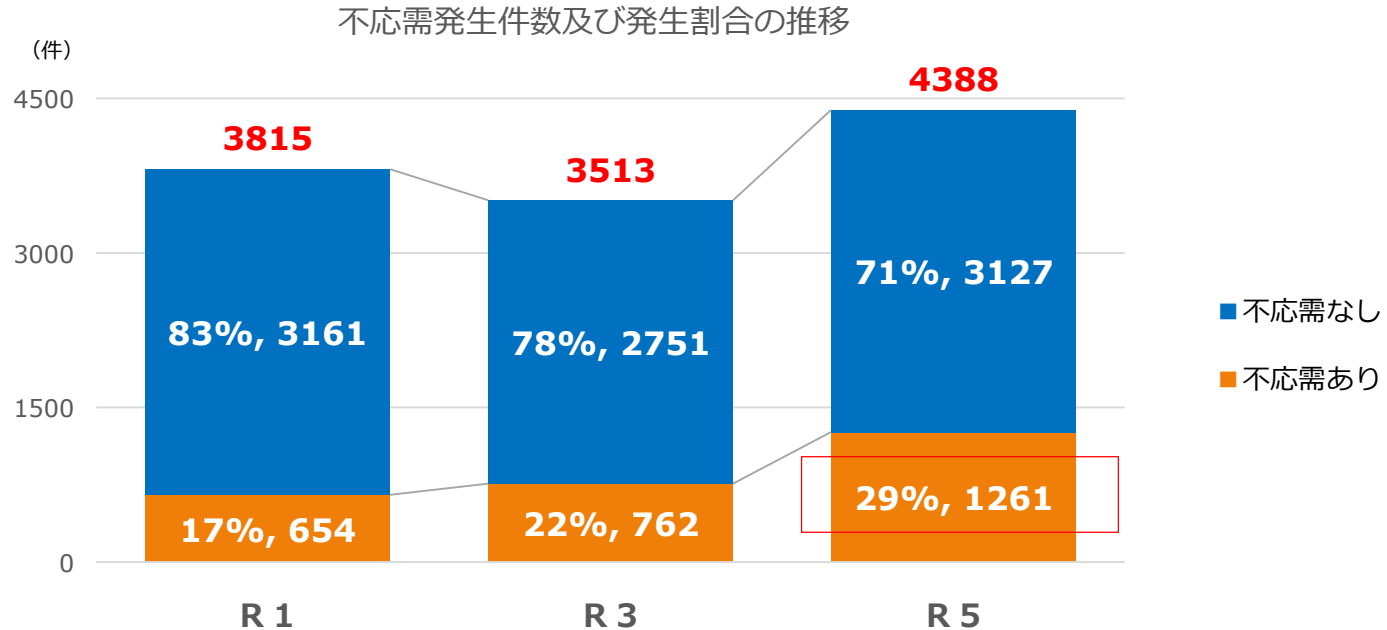
整形外科系疾患



不応需の発生状況（全体）

不応需発生件数の推移

○不応需件数は増加。R 5 不応需件数は、R 1 比の約 2 倍



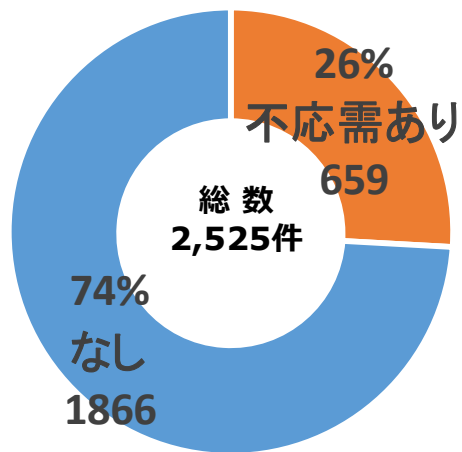
不応需の時間帯別発生割合（R5）

○発生割合は、日中よりも夜間の方がやや高い

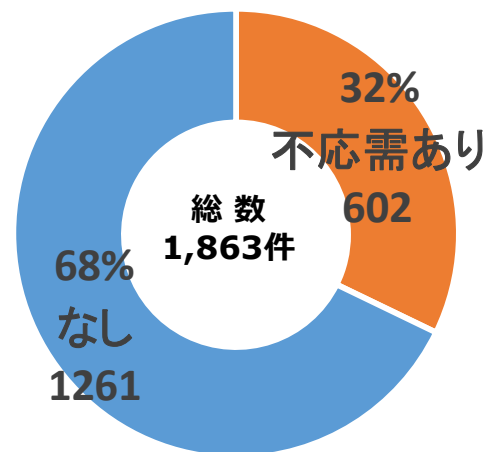
※日中／ 8:01～17:59

夜間／18:00～ 8:00

R5 不応需発生状況（日中）

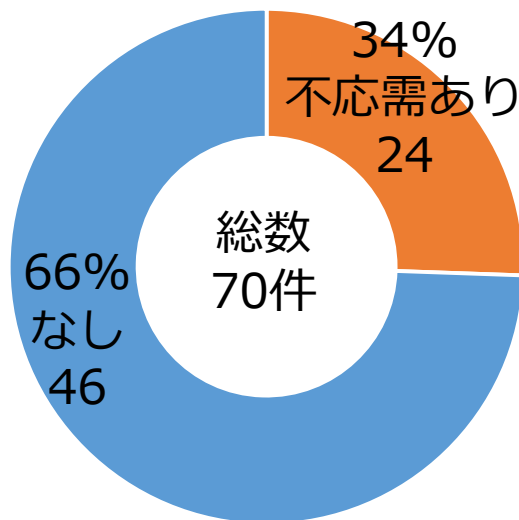


R5 不応需発生状況（夜間）

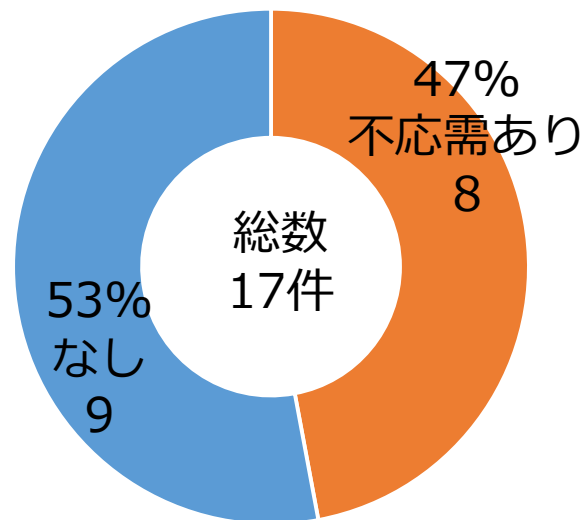


※日中／08:01～17:59
夜間／18:00～08:00

R5 労災不応需発生状況（日中）

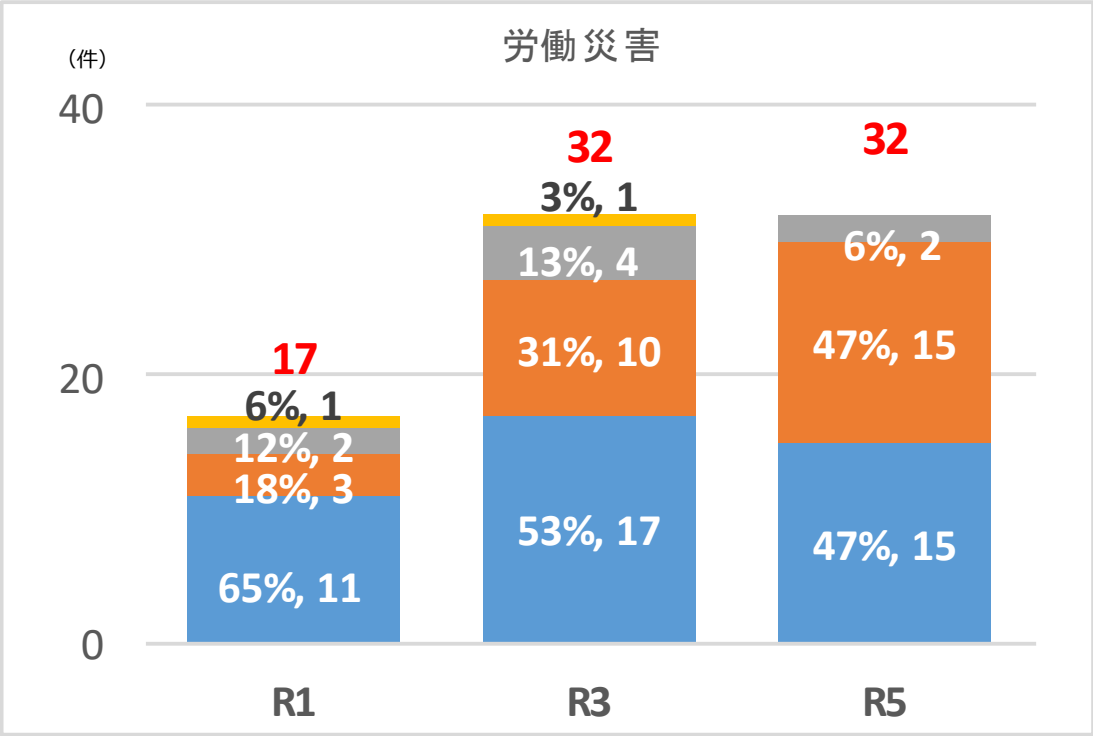


R5 労災不応需発生状況（夜間）



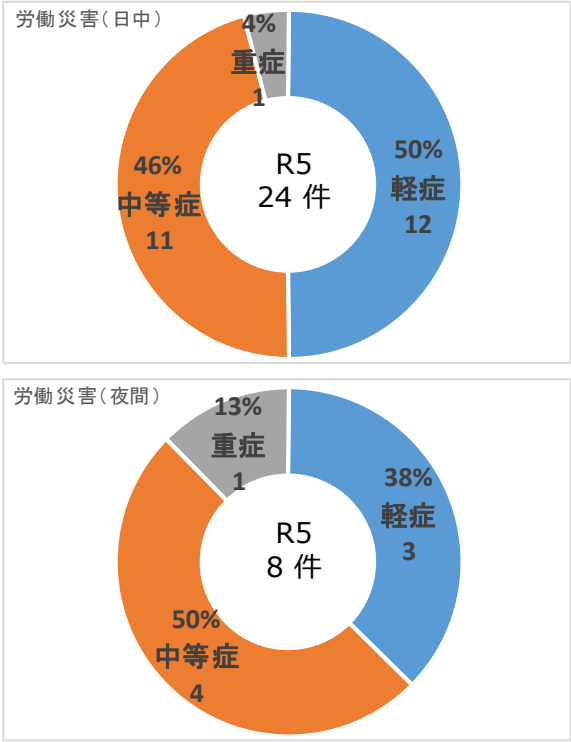
不応需の推移

■ 軽症 ■ 中等症 ■ 重症 ■ 死亡



R5不応需 時間常別

※日中／ 8:01～17:59
夜間／18:00～ 8:00



(2) 県による医師派遣調整の動向について

- 令和5年度第6回茨城県地域医療対策協議会（令和6年3月25日開催）において、令和5年度医師派遣要望の結果が報告された。
 - 鹿行保健医療圏の要望については、下記のとおり0.5人の医師派遣となった。
- また、要請外の派遣として筑波大学より、下記のとおり1.2人の医師派遣となった。

令和5年度医師派遣要望の結果

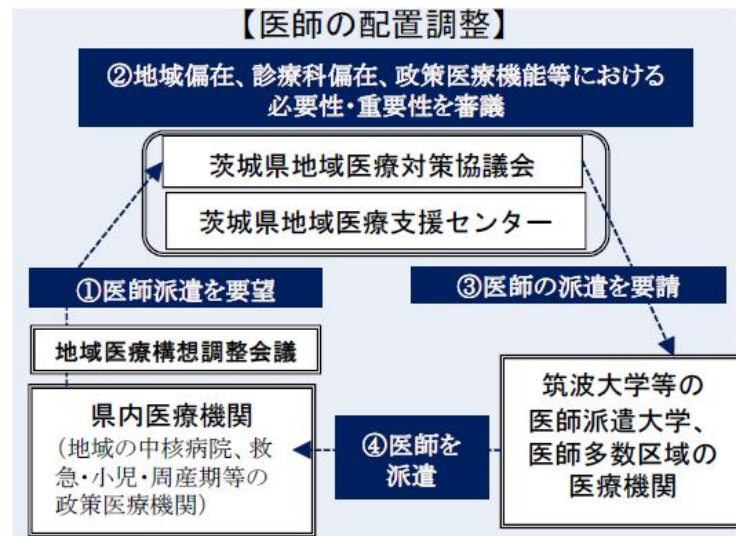
1 要望

医療機関	診療科	要望数	結果	派遣元
小山記念病院	脳神経外科	1人	0.5人	筑波大学
	救急科	1人	0人	
神栖済生会病院	消化器内科 (胃腸内科)	1人	0人	
白十字総合病院	呼吸器内科	1人	0人	
計		4人	0.5人	

※太字「優先的に大学へ医師派遣を要請する要望」

2 医師派遣要請以外の医師配置

医療機関	診療科	結果	派遣元
小山記念病院	泌尿器科	1人	筑波大学
神栖済生会病院	総合診療科	0.2人	筑波大学



第8次（前期）茨城県医師確保計画（2024年度～2026年度）

(3) 厚生労働省「第5回上手な医療のかかり方アワード」について

- 市の取り組みが、上手な医療のかかり方における総合的な制度設計が優秀な取組として「厚生労働省医政局長賞」を県内自治体で初めて受賞。
- 受賞した取り組みは、医療を受ける側と提供する側が双方向のやりとりを通じて、共に考え、全員参加のもとに行動する「みんなが創る！みんなで守る！かみすの医療プロジェクト」。冊子や広報紙による情報提供、市民の声を掘り下げる懇談会や企業も参加した連絡調整会議などの双方向での直接、間接の話し合い、さらには提案等を踏まえた医療教育や企業も参加する症例検討会などを展開。



- ▶▶ 今回の受賞は、複数年度にわたり、オール神栖で地道に取り組んできたことが評価されたもの。今後とも当プロジェクトの推進に努めてまいりますので、引き続いてのご参加とご協力をお願いします。

議題 3 課題案件等の取組状況について

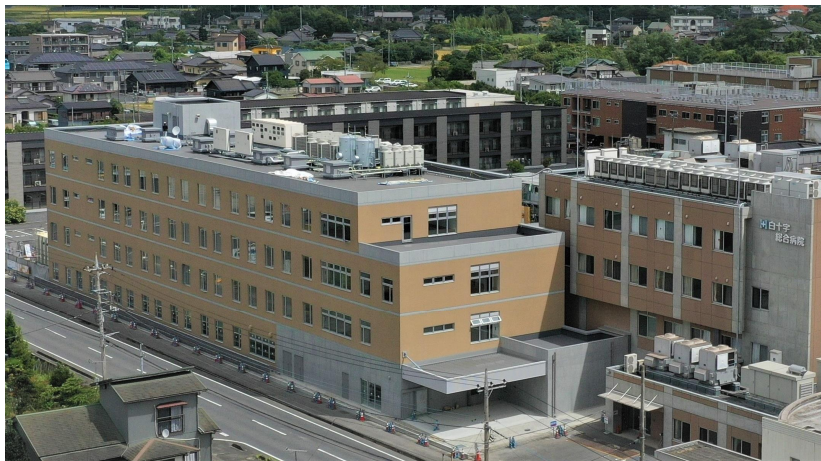
(1) 市内医療機関の整備状況について

白十字総合病院の回復期・慢性期病棟建て替えについて

- 白十字総合病院では、急性期や産科診療を行いつつ、地域に根ざした回復期・慢性期病床を有するなど多機能な医療を提供
- 同病院の回復期・慢性期病棟は老朽化が激しく、施設基準を満たしていないことから、暫定的に急性期の重症者用の病棟を利用せざるを得ず、20床が休床
- 市では、令和4年度から回復期・慢性期病棟の建て替え工事を支援。新棟は、**令和6年11月供用開始**。

▶▶▶ **療養環境改善、急性期病床20床の提供再開・304床フルオープン**

概要



全体階層 構成図

4階	病棟（急性期・産科） 60床				病棟（療養） 45床		
3階	病棟（急性期） 80床				病棟（療養） 45床		
2階	管理部門	手術室	健診センター	薬剤科	病棟（地域包括ケア病棟） 40床		
1階	外来 救急外来	放射線科・検査室 内視鏡室・リハビリ 栄養相談室	総合受付 売店	医療福祉 相談室	歯科 診療室	感染対策 診療室	一般病棟 （急性期） 34床
本館				新棟			

鹿嶋ハートクリニックの病院化について

- 鹿嶋ハートクリニックは、**循環器疾患の高度・専門的な治療や手術、重症患者の救急**に対応する有床診療所
- 国から特例病床として**高度急性期病床4床の増床**が認められ、**総病床数23床の病院化**に向けた施設整備を進め、**令和6年11月供用開始**
- 市では、同院が実施する「施設整備」と「体制整備」について、令和5年度から令和9年度までの**5年間にわたり支援**

▶▶▶ **病院ならではの高度な手術の提供、24時間365日の救急受入や緊急手術への対応を目指す**

概 要

完成イメージ



病院化整備に向けたスケジュール

R5	R6	R7	R8	R9
施設整備 ・HCU4床 ・手術室 ・医療機器				
体制整備 ・人材確保 ・教育・研修体制整備				

2病院の再編統合について

- 神栖済生会病院と鹿島労災病院を再編統合し、地域の中核医療を担う新拠点病院を整備するもの。
- 県・市・済生会・労働者健康安全機構の4者による再編統合に係る基本合意書に基づき、市は平成30年から整備等に対して支援。
- 建設資材価格の高騰等による事業費の増等のため、令和4年8月以降、実施計画等の実施を見合わせ。

- ▶▶▶ **6月下旬に行った県・市・神栖済生会病院との新病院整備の打合せにおいて、神栖済生会病院から基本設計について、事業コストを見直す事を主眼に、計画の規模・内容を再検討し、見直しを図っていくことが伝えられた。**



(2) 24時間救急体制の整備について

- 第2回連絡調整会議において、24時間の救急体制について課題提起あり。
- 産業都市にふさわしい医療体制づくりに向けて、救急ワーキング会議で実行策を協議。

R6.2月 救急ワーキング

- 早朝・夜間の対策を検討。
次の提案あり
 - ・さらなる当番表の作成
 - ・遠隔連携ツールの活用促進

R6.9月 救急ワーキング

- 輪番制を取っていても、市内で受入体制を構築することが難しい現状を共有
- 救急医療情報システムについて、次のことを確認
 - ・現行システムの活用体制の見直し
 - ・次期更新に向けた情報収集
- 遠隔連携ツールの活用具体案の協議継続

データ分析、実態把握

- 直近のデータ分析（時間帯別、年齢別の事故種別や傷病）
- 救急受入に係るルールや当番表の実態把握
- 遠隔連携ツールの活用状況の調査

市内医療機関の取組状況

【神栖済生会病院】

- 週3回日中に日本医科大学千葉北総病院から救急科医師の派遣を受け、救急対応の強化を実施
- 日本医科大学千葉北総病院の救急科との連携によるスムーズな転院搬送

【白十字総合病院】

- 令和6年4月に、救急対応に注力するための総合診療医を新たに1名採用し、救急応需率の向上を促進
- 救急要請に応えられるよう医師確保をはじめとした体制強化を推進

【鹿嶋ハートクリニック】

- 令和6年7月にクリニック内の救急委員会のメンバーを新たにし、令和6年11月からの循環器疾患における24時間救急体制への整備を開始

(3) 労働災害における軽症患者の市内受入体制の強化について

○令和6年2月の救急ワーキングチーム会議において、労働災害の軽症患者の市内収容率が向上している状況を共有。

○熱傷・薬傷症例検討会を継続開催することで、更なる受入れ増加を目指す。

労働災害全体



うち熱傷・薬傷



市内医療機関の取組状況

【神栖済生会病院】

○連絡調整会議等で課題となっている労働災害における患者受入対策を検討し、令和5年度に鹿島東部コンビナート関連企業との意見交換会を開催。病院の診療機能を説明すると同時に、受入強化のため、試行的に日中は地域医療連携室を窓口とした専用受入連絡先を設置し、同コンビナートに周知。その結果、企業からの労働災害の受入件数は、令和5年度の12件（年間）に対し、令和6年度は7月8日時点において23件と増大している。

【白十字総合病院】

- 令和5年9月からスタートした熱傷・薬傷症例検討会への参加以降、令和6年7月までに10件（熱傷8件、化学熱傷2件）の患者を受け入れた。今後も地域の労働災害の受入強化に努めていく。
- ケアミックス型病院であるため、2週間程度の急性期治療が終了後も、もう少しリハビリ行って自信をつけてから自宅に戻りたいといったような場合に、引き続き入院を継続することが可能。
- 今秋の病棟のリニューアルにより、より良い療養環境の提供に努めていく。

(4) 労災救急患者の受入推進のための熱傷・薬傷の症例検討会の開催

- 産業都市特有の疾患である「熱傷・薬傷」の基本的な治療法を学び、救急患者の受入を進めようとの市内医師からの提案により、症例検討会がスタート。
- 令和5年度は、当地域の救急患者を受け入れた病院から専門医などを講師に招き、3回開催。これを通じて、救急医療機関の受入機運が高まるとともに、皮フ科内科クリヤマクリニックが労災指定医療機関の認定を受け、救急受入対応を開始するという新たな動きにつなげることができた。
- また、化学薬品を扱う企業からは、日中だけでなく夜間や休日にも一次処置に対応できる市内の体制整備を図るため、症例検討会の継続・発展への期待の声も届いていることから、令和6年度は薬傷についての基本的な理解を深める勉強会を開催する。

令和5年度 開催結果

- 1 主催 神栖市若手医師きらっせプロジェクト（事務局 神栖市役所 地域医療推進課）
- 2 対象者 市内病院・診療所の医師や看護師等の医療従事者及び事務職、消防本部、市修学生、企業、市職員
- 3 開催方法 市施設で開催、オンライン参加も可 ※事前申込者は開催後にYouTubeで閲覧可

	第1回	第2回	第3回
内 容	熱傷・薬傷の総論（産業医 田中医師） 症例検討①（旭中央 東医師）	症例検討②（土浦協同 盛山医師） 症例検討③（千葉北総 原医師）	企業の初動対応（事務局、林医師） その他の労災救急（田中医師）
時 期 会 場	令和5年9月22日（金） 神栖市はさき保健・交流センター	令和5年11月16日（木） かみす防災アリーナ	令和6年1月25日（木） かみす防災アリーナ
参 加 人 数	187名 （うち会場参加47名）	165名 （うち会場参加55名）	129名 （うち会場参加37名）

令和6年度開催概要

	第4回	第5回
内 容	化学熱傷 鳥取大学名誉教授 山元 修医師	化学損傷（Chemical Injury） 慶應義塾大学医学部 救急医学 教授 佐々木 淳一医師
時 期 会 場	令和6年10月3日（木） かみす防災アリーナ	令和6年12月4日（水） かみす防災アリーナ
参 加 人 数	127名 （うち会場参加35名）	申込期限 令和6年11月8日

第4回熱傷・薬傷症例検討会 参加者の声

- ・薬品ごとの特徴を知ったことで、対応方法の明確なものを学んだ。受傷時の状況、曝露範囲、時間などを聴取したうえで判断できるよう業務にあたっていきたいと思った。
- ・医師の方々以外にも分かりやすく、専門用語の説明等もはさんでお話し下さり、大変勉強になった。化学コンビナートが所在する地域で就業するものとして、また、家庭にもよくある洗剤や溶剤を扱う生活者として、非常に参考になる内容であった。
- ・日常であまり見ることがない症例写真を開いて講義していただき、とても学びになりました。原因である物質を1番最初に患者さんとお話する看護師がきちんと状況も含めて問診することが重要であると感じた。

(5)看護職の確保について

看護職合同進学・就職相談会の開催

○離職率が高く不足傾向にある看護職について、神栖市若手医師きらっせプロジェクトの事業として、看護師等の人材確保を図ることを目的に相談会を実施

○看護職（看護師・准看護師・保健師・助産師）及び看護補助者としての就職（新規・復職・転職）希望者、看護学生、看護学校等への進学希望者を対象に市内医療機関や学校の相談ブースを設置し、研修・教育制度や求人情報等を案内する。また、復職希望者向けに技術研修を実施

令和6年度 第2回開催概要

これまでの開催実績

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 令和6年12月15日（日）
午前10時から正午、午後1時から3時30分 |
| 2 場 所 | かみす防災アリーナ |
| 3 参加施設 | 神栖済生会病院、白十字総合病院
鹿嶋ハートクリニック、神栖メディカルクリニック
白十字看護専門学校 |

▶▶ 企業のみなさまのご家族等で看護職資格を保有されている方への
周知ご案内のご協力を引き続きお願いいたします。

	来場者数	技術研修	就職等実績
令和4年度 R4.12.11(日) @鹿島セントラルホテル	5名		1名
令和5年度第1回 R5.9.2(土) @かみす防災アリーナ	8名	4名	0名
令和5年度第2回 R6.2.12(月・祝) @かみす防災アリーナ	15名	1名	4名
令和6年度第1回 R6.5.25(土) @かみす防災アリーナ	10名	4名	-

○看護職の採用・定着を促進するため、各医療機関において各種支援策の強化を行っているほか、看護職確保分科会を開催し、看護職確保対策の取組み等について、協議・検討を行った。

取組内容

【白十字総合病院】

- 奨学金制度の拡充
- 柔軟な勤務体制（時短・スポット等）の検討
- 看護職のスキルアップのための資格取得新制度の充実

【神栖済生会病院】

- 奨学金貸与額の増額
- 就職支度金の増額

【鹿嶋ハートクリニック】

- 就職支度金の導入
- 人材紹介会社の活用強化
- 院内紹介制度の導入

看護職確保分科会開催概要

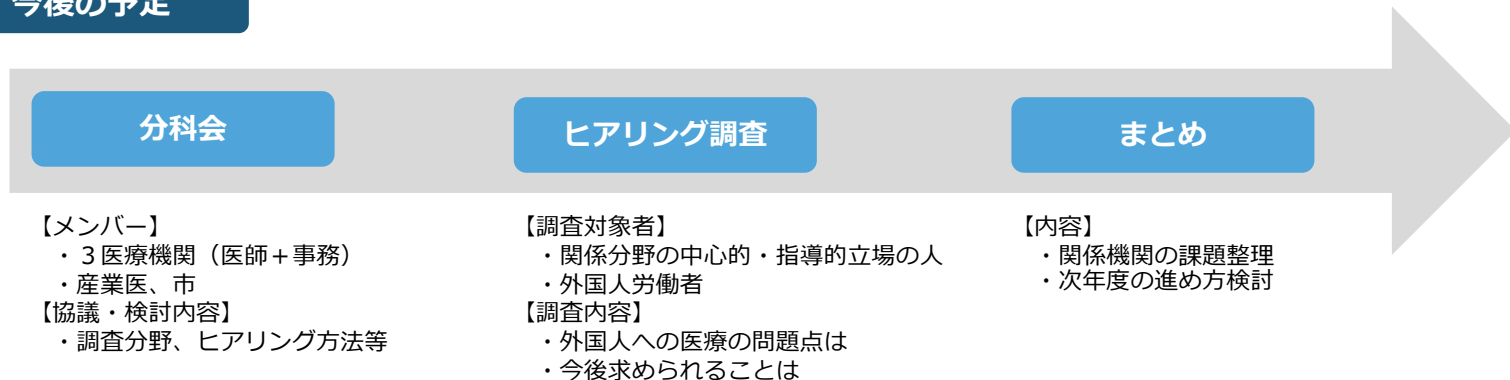
- | | |
|---------|---|
| 1 日 時 | 令和6年8月28日（水）午後6時から8時 |
| 2 場 所 | 神栖市役所分庁舎2階 会議室 I |
| 3 出 席 者 | 神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック
神栖メディカルクリニック、茨城県ナースセンター |
| 4 協議内容 | ・看護職合同進学・就職相談会の振り返りと今後の方針
・看護職確保対策の取組みについて
（市の支援制度の活用、外国人看護助手等の採用
DX等によつ看護業務の効率化 など） |

▶▶ 企業における社員の離職防止の取組についても参考に
させていただきます、意見交換いただければ幸いです。

(6) 外国人患者の受入推進について

- 第3回幹事会議において、外国人労働者のスムーズな受診対応について課題提起があったところ。
- 市内には農業、漁業をはじめ様々な産業分野で多くの外国人が従事していることから、課題の検討が必要。

今後の予定



市内医療機関の取組状況

神栖済生会病院

- 翻訳アプリの活用
- 生計困難者の外国人患者に対する無料定額診療事業

白十字総合病院

- 翻訳機の活用
- 10カ国語のインフォメーションが可能な大型検診車の購入
- 多言語に対応できる帳票の整備やD X化について鋭意検討

(参考)

県が選出する「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」
(市内は2医療機関)

○カテゴリー1（入院を要する救急患者に対応可）

白十字総合病院

○カテゴリー2（外国人患者の受入可）

鹿嶋ハートクリニック

外国人労働者が医療を受けるときの課題

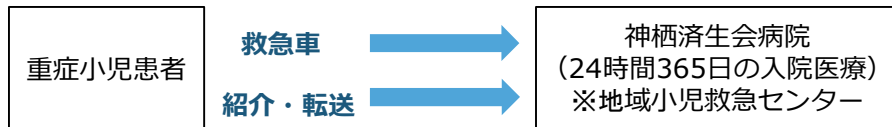
分野	具体的な場面
コミュニケーション	● 細かなニュアンスを伝えることが難しく、手術等の際「万一の場合」の説明に苦慮する ● インドネシア語には時制（過去、現在、未来）がないため、ニュアンスが曖昧になり誤解が生じやすい ● コミュニケーションが不安。日本語で細かな症状を伝えることが難しい。問診表の記入が難しい ● 受診時に使用する言語：日本語、英語、インドネシア語 ● 受診時に使用するツール：スマホアプリ、外国人先輩の付添
生活習慣	● 健康診断の経験が無いため、採血で気を失う者が少なからずいる。同様にインフルエンザ等の予防接種を怖がる者が多い ● 揚げ物料理が多いためか、高コレステロール、高脂血症の者が多い ● 辛いものを好む傾向のためか、痔の者が少なからずいる ● 耳掃除をする習慣がないため耳垢がひどく、来日前の健康診断で耳垢除去の処方を受ける者が多い ● 隠れ結核患者が少なからずいる
宗教	● 食生活では、豚肉、アルコールが禁忌。豚肉そのものだけでなく、豚エキスが使用されるブイヨン、ゼラチン、ラードも使用不可。豚肉を見るだけで嫌悪感を抱く者、豚肉と同じ器具を使って調理された食べものを忌避する者も ● アルコールについては、ドリンクだけでなく、醤油、味噌など調味料として使用されるものも不可 ● インドネシアのイスラム教徒は若干ルーズなところはあるが、個人差があるためケガや疾病等による入院時には配慮が必要
その他	● 病院までの交通手段がないため、受診が難しい ● 薬の理解が難しい ● 外国人は、虫歯の治療をしていない人が多い傾向がある。遠洋漁業に出てしまうと、身近に歯の治療を受けられなかったり、抜歯が必要となった際には寄港地やそのタイミングについて思い通りに対応することが難しいときがある ● 健康診断を受ける習慣がないため、重大な病気やアレルギーが隠れていることがある。想定外に重症化するとか、アナフィラキシーショックを起こすとか、慌てるケースもある

（出典）R6 8月実施「農業・漁業従事者アンケート」対象：20代～60代の従事者及び外国人労働者（技能実習生）の雇用主

(7)小児救急体制の見直しについて

- 神栖済生会病院の地域小児救急センターとしての機能を維持・確保するため、令和6年4月1日から小児救急体制を見直したところ。
- 神栖済生会病院が地域小児救急センターに専念できるよう、市が独自に委託している日曜・祝日の小児の休日当番医を停止。
- 日曜・祝日(日中)の軽症の小児救急体制を見直し。

地域小児救急センターのミッション



見直しの内容

- 日曜：小児科標榜診療所
(鹿島医師会休日当番医 → 成人+小児)
 - 祝日：鹿島医師会休日当番医 → 成人+小児
- 重症患者 紹介・転送**
-
- ```
graph LR; A[重症患者 紹介・転送] --> B[神栖済生会病院
土浦協同病院 など];
```

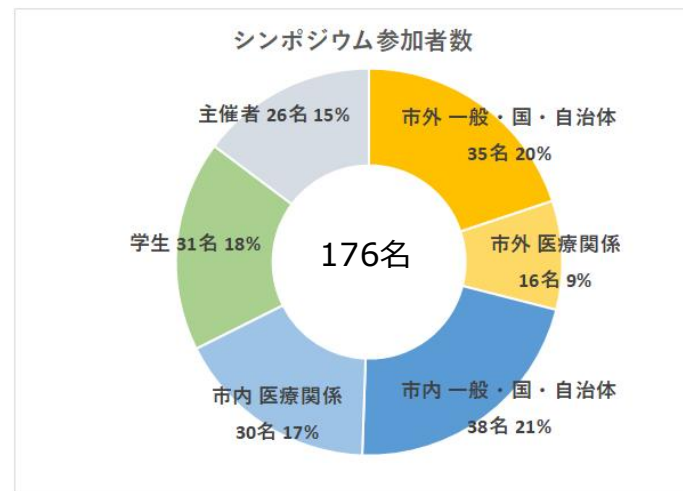
### 見直し後の軽症の小児救急体制

|                           | 月～土                 | 日                                                     | 祝・年末年始 |
|---------------------------|---------------------|-------------------------------------------------------|--------|
| 8:30～<br>20:00<br>(昼休等含む) | 小児科標榜<br>医療機関       | 小児科標榜<br>医療機関<br><div>鹿島医師会休日当番医<br/>9:00～16:00</div> |        |
| 20:00～<br>23:00           | 鹿嶋市夜間小児救急診療所 (365日) |                                                       |        |
| 23:00～<br>翌8:30           | 神栖済生会病院 (365日)      |                                                       |        |

## 議題 4 地域医療シンポジウムの開催結果について

○令和6年10月13、14日の2日間、かみす防災アリーナ ホールで「地域医療シンポジウム」を開催。

○国内外の大学・高校・予備校から31人、全国各地の医療機関・自治体・大学やシンクタンク・市内の指導医や市民など145人、総勢約176人が参加。



▶ 動画・記事掲載  
NHK茨城NEWS WEB

○シンポジウムに先立ち、市内探訪を実施。希望者54人が3コースに分かれて、市内各所を訪問し、医療需要などの理解を深めた。  
地元医師、市民・企業、市役所から18人がガイドとして、各訪問先を案内。

○シンポジウムの冒頭で、学生から市内探訪報告を行った。



○シンポジウム1日目のトーク＆トークは、はじめに8人の地元医師が学生時代に描いていた理想を紹介。現実はどうかや地域医療の醍醐味などを披露。

○学生からの質問に対して、地元医からは「医療以外の分野の人々との交流が医師としての成長の糧」「企業の組織力を生かして健康啓発ができることが産業医の魅力の1つ」などが紹介された。また、医師の招へいにあっては、「神栖市ならではの魅力を発信していくこと」「地域医療に高い志を持つ層に効果的にアプローチしていくことが重要」などの意見が出された。

○1日目の最後には、永井コーディネーターから「これからの医療を変えることができるのは市民。幼いときからの医療教育が大切」との感想が述べられた。



○2日目のトーク＆トークのテーマは「地域医療を志す医師が働きたいと思える環境・体制」。地元医からは、医療クラークの採用やICTの活用により、医師が自分の仕事に専念できる環境の整備に取り組んでいることが紹介された。また、市民から「鹿島労災病院がなくなってから、救急医療体制が最も不安」という声が挙がり、学生からは「地域が求めている医師像を明確に発信できれば、地域と医師がうまくマッチングできる」との意見が出された。

○最後に、多様な立場の人々が互いの思いをぶつけ合う機会を今後も続けていくことを全体で確認し、「神栖宣言」を発表。



## 神 栖 宣 言

### (全 体)

地域医療を志す医師が思う存分活躍できる環境づくりを進めるため、

○地域医療の舞台となる地域の様々な主体は、互いに尊重し合い、それぞれの思いに触れよう

○地域医療を志す者、牽引する者、サポートする者、支えられる者、それぞれの持てる力を引き出し、高め合おう。  
そのためにも、本音で話し合える場を継続して持とう。特に、地域医療を志す者を育て、励まし、鍛えるのは市民  
であることを再認識しよう

○市民、医療機関、行政、学生、指導者は、このシンポジウムで得た感動を忘れず、神栖宣言の趣旨を心に刻み、  
地域医療を志す者が学び、働き、活躍するフィールドづくりに全力を尽くそう

### (神栖市)

神栖市は、神栖市若手医師きらっせプロジェクトを推進し、地域に隠れている様々な思いを、具体的でポジティブな力に変えて発信していこう。発信に当たっては、市民の思いを踏まえ、この地でのやりがいを明示するとともに、情報を受け止める医師に自分が求められていることを伝えていく

地域の関係者が一つに繋がっていけるよう、大人の事情はさておき、思いをぶつけ合う場を来年度も開催する

医療機関は院内のスタッフが信頼し合い、チームとなって働き、生きがいを感じられる環境づくりに全力を尽くす

## 議題 5 産業医体制の充実について

# 産業医学基礎研修会の開催

○令和2年度からスタート

主催：茨城県医師会

主管：鹿島医師会

協力：神栖市若手医師きらっせプロジェクト

|       | 受講者数  | 県内    | 県外    | 都道府県数 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 令和2年度 | 637   | 258   | 379   | 27    |
| 令和3年度 | 687   | 315   | 372   | 22    |
| 令和4年度 | 906   | 295   | 611   | 25    |
| 令和5年度 | 913   | 288   | 625   | 27    |
| 合計    | 3,143 | 1,156 | 1,987 |       |

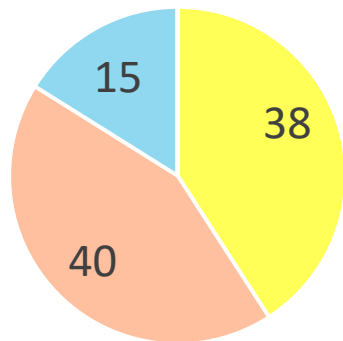
## 令和6年度研修会日程（予定）

|      |                     |                            | 受講者数 | 合計 | 県内 | 県外 |
|------|---------------------|----------------------------|------|----|----|----|
| 前期研修 | 8月 3日（土）、 4日（日）     |                            | 98   | 11 | 87 |    |
|      | 11月16日（土）、17日（日）    |                            |      |    |    |    |
| 後期研修 | 令和6年                | 協力企業等 16社                  |      |    |    |    |
|      | 8月24日（土）、25日（日）     | 座学：ライオンケミカル                | 48   | 13 | 35 |    |
|      | 9月14日（土）、15日（日）     | 工場見学：JERA、鹿島石油、D I C       | 50   | 13 | 37 |    |
|      | 10月19日（土）、20日（日）    | 工場見学：AGC、信越化学工業、ダイキン工業     | 49   | 12 | 37 |    |
|      | 11月30日（土）、12月 1日（日） | 工場見学：カネカ、三洋化成工業、ENEOSマテリアル |      |    |    |    |
|      | 12月14日（土）、15日（日）    | 座学：鹿島埠頭、鹿島地方事務組合消防本部       |      |    |    |    |
|      | 令和7年                |                            |      |    |    |    |
|      | 1月25日（土）、26日（日）     | 座学：クラレ、ケイミュー               |      |    |    |    |
|      | 2月 8日（土）、 9日（日）     | 工場見学：三菱ケミカル、花王             |      |    |    |    |

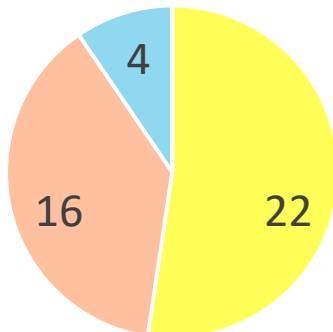
# アンケート結果

## 講義内容の満足度

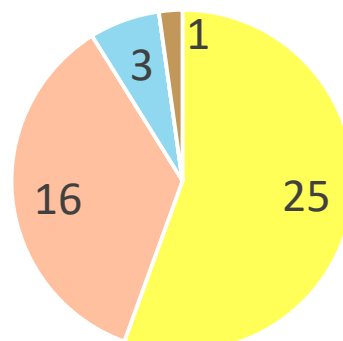
<8月3日・4日前期日程>



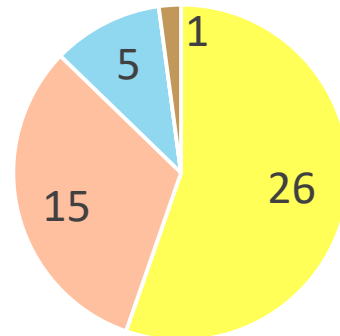
<8月24日・25日後期日程>



<9月14日・15日後期日程>



<10月19日・20日後期日程>



### <意見・感想(抜粋)>

- ・産業医に関して明確なイメージがなかったため、今回の研修で実態を知ることができ、学びになった。
- ・先生方の講義は経験に基づいたお話が多くとても面白かった。
- ・普段見ることができない場所を見学する貴重な経験だった。産業医の関わり方なども丁寧に教えていただき、現場の声を知ることができて、今後の業務に活かせると感じた。
- ・実際に工場内を見学させていただくことで、職場環境を理解することができ、大変有意義だった。
- ・実際に勤務されている方のお話を伺う機会はなかなか無いので、貴重な機会だった。
- ・工場見学は大変勉強になるので、今後も続けて欲しい。
- ・何度か研修会に通ううちに神栖市はとても良い街と感じるようになった。医師の誘致も積極的で、みんなで良い街にしようという気持ちが伝わり、魅力的です。
- ・子供が家から出て行った後は自由に動けるようになるので、神栖での勤務も視野に入れていきたいと思う。

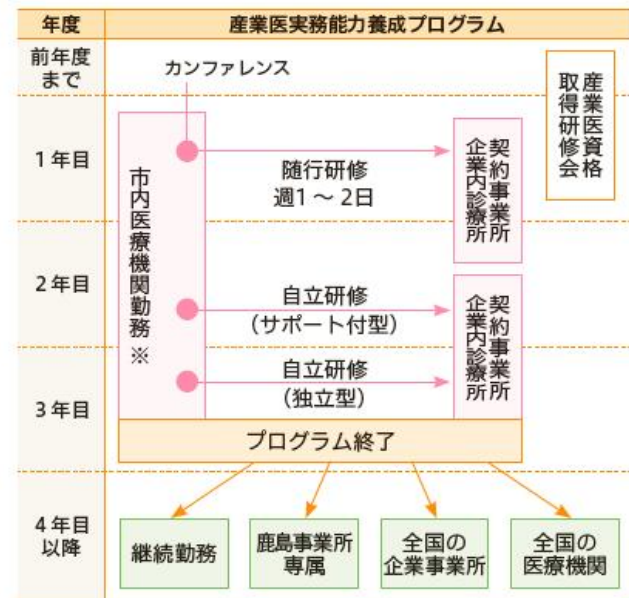


# 産業医業務に関心のある医師の市内就業促進

- 令和4年度に、白十字総合病院・神栖済生会病院の2つの病院内に、新たに「神栖産業医トレーニングセンター」が開設。
- 鹿島臨海工業地帯周辺の企業で働く人をサポートするとともに、産業医、社会医学系専門医の育成に取り組んでいるところ。
- 令和6年4月には新たに5人の医師が赴任し、産業医、社会医学系専攻医として従事しながら、配属先の医療機関での診療や当直業務等を担っているところ。
- 市内の総合病院等（研修医療機関）で勤務しながら、週1～2日、経験豊富な産業医のもとで産業医業務の実務研修を受け実践力を養成するコースもあり。

## 産業医トレーニングセンターの就労医師数

|           | 令和4年4月                         | 令和5年4月                                                    | 令和6年4月                         | 令和8年<br>(第3次総合計画に<br>おける目標値) |
|-----------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 就労<br>医師数 | 3人                             | 9人                                                        | 13人                            | 15人                          |
| 配属別<br>内訳 | 白十字総合病院<br>2人<br>神栖済生会病院<br>1人 | 白十字総合病院<br>5人<br>神栖済生会病院<br>3人<br>東部地区健康管<br>理クリニック<br>1人 | 白十字総合病院<br>7人<br>神栖済生会病院<br>6人 |                              |



※神栖済生会病院、白十字総合病院、鹿嶋ハートクリニック

## 上手な医療のかかり方

### かみす健康ダイヤル24

フリーダイヤル



0120-1331-69 (無料)

日頃の健康相談や、夜間の急な発熱などのときは、あわてずにまず電話相談！  
医師や看護師がわかりやすく皆様のご相談に応じます！

#### かかりつけ医を持ちましょう

病気になったときの初期の医療や日頃の健康相談を受け持つ、身近な医師・歯科医師（かかりつけ医）を持ちましょう。  
あなたに合った治療のアドバイスを始め、より専門的な治療が必要かの判断、適切な医療機関への紹介などをしてくれる心強い存在です。



#### 医療の適正な受診を心がけましょう

大きな病院へ行く際は、かかりつけ医から紹介状をもらってから通院しましょう。紹介状を持たずに大きな病院へ行くと、診療とは別に特別な料金が発生します。診療時間外での受診は、診療費も高くなります。気になる症状がある場合は、昼間のうちに受診しましょう。

### 医療機関にはそれぞれの役割があります



主に、入院治療の必要がない  
外来患者の医療を行います。

- かかりつけ医  
(地域の診療所など)



主に、手術や入院を必要とする  
重症患者の医療を行います。

- 神栖済生会病院
- 白十字総合病院など



主に、生命の危機に関わる重篤な患者、特に高度な処置が必要な患者の医療を行います。

- 土浦協同病院など

### もしものとき

| 電話相談         | — | ○                   | いつでも<br>急病、ケガ、応急手当                   | 茨城子ども救急電話相談                                    | 短縮ダイヤル #8000<br>または<br>☎050-5445-2856           | 24時間年中無休                            |
|--------------|---|---------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------|
|              | ○ | —                   | いつでも<br>急病、ケガ、応急手当                   | 茨城おとな救急電話相談                                    | 短縮ダイヤル #7119<br>または<br>☎050-5445-2856           |                                     |
|              | ○ | ○                   | いつでも<br>タバコ・洗剤等の<br>誤飲、中毒            | 大阪中毒110番<br>つくば中毒110番<br>たばこ誤飲事故専用電話<br>(自動音声) | ☎072-727-2499<br>☎029-852-9999<br>☎072-726-9922 | 24時間年中無休                            |
| HP           | — | ○<br>(生後1か月<br>～6歳) | 受診が必要か、<br>救急車を呼ぶか<br>迷ったとき          | こどもの救急                                         | 日本小児科<br>学会 HP                                  | —                                   |
| アプリ          | ○ | ○                   |                                      | Q助                                             | 消防庁 HP                                          | —                                   |
| 受診できる<br>ところ | — | ○                   | 夜間<br>具合が悪く受診したいとき<br>(急な発熱など軽症などとき) | 夜間小児救急診療所<br>(鹿嶋市宮中1998-2)                     | ☎0299-82-3817<br>※受診前に電話連絡しましょう                 | 毎日夜間<br>20:00～23:00<br>※受付は22時45分まで |

成人向け夜間初期救急センターは現在休診中です。再開にあたっては、市ホームページ等でお知らせします。

[ホーム](#) > [茨城県の各部署の業務案内](#) > [保健医療部](#) > [本庁](#) > [医療政策課](#) > [医療計画](#) > [かかりつけ医を持ちましょう](#)[シェアする](#)[プリント](#)[LINEで送る](#)

更新日:2024年7月31日

## かかりつけ医を持ちましょう

日常的な診療や健康管理には、身近な「かかりつけ医」を受診しましょう。

日頃から体質や病歴、健康状態を詳しく把握し、健康管理のアドバイスなどもしてくれるだけでなく、対応が困難な場合には専門医を紹介してくれる、あなたの強い味方です。

### かかりつけ医の機能とは

身近な地域における日常的な医療の提供や健康管理に関する相談等を行う機能

### かかりつけ医を持つメリット

#### 日頃の健康状態を知ってもらえる

継続して同じ医師に診察を受けることで、体質・アレルギーや病歴を把握してもらえ、あなたに応じた的確な診断やアドバイスをしてくれます。また、ちょっとした体調の変化にも気づきやすくなるため、病気の早期発見や早期治療につながります。

#### 症状に応じた専門家の紹介がスムーズ

専門的な検査や治療が必要になった場合に、症状に応じて適切な医療機関を紹介してもらえます。

### 医療機関を探しましょう

茨城県では、県内の病院・診療所の情報を「[いばらき医療機関情報ネット（外部サイトヘリンク）](#)」上で提供しています。身近な医療機関を探す際にご活用ください。

### 医療機関の役割分担について

医療機関は、限られた資源（機器、スタッフ等）を有効活用するため、施設の規模や専門性などに応じて役割分担をして医療を提供しています。

特に大病院は、救急患者への対応や高度・専門的な治療を要する患者への対応を行っていることなどから、紹介状なしで受診する場合に、特別の料金（定額負担）がかかることがあります。

風邪などの日常的で緊急性のない病気の場合、まずは「かかりつけ医」を受診しましょう。

#### 関連リンク

- [上手な医療のかかり方（厚生労働省）](#)
- [紹介受診重点医療機関（茨城県）](#)

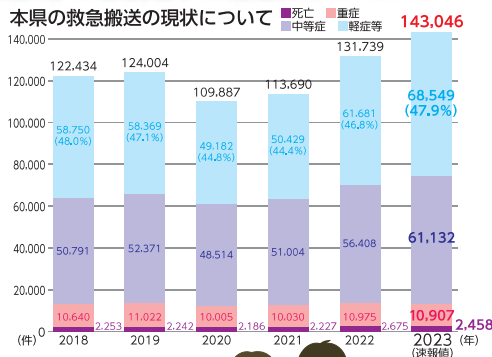
#### このページに関するお問い合わせ

保健医療部医療政策課医療計画  
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6  
電話番号：029-301-3124  
FAX番号：029-301-3199

# 救急搬送における選定療養費の徴収を開始します

## 本県の救急医療の現状

- ▶救急車の要請に対し、救急隊は原則搬送することとされており、**搬送を拒否することはできません。**
- ▶一方で、救急搬送件数を見ると、近年、増加傾向にあり、令和5年（2023年）は14万件を超え、過去最多を更新しましたが、その6割以上が**一般病床数200床以上の病院に集中し**、うち約半数は軽症患者が占め、中には**緊急性の低いケース**も見受けられます。
- ▶さらに、令和6年（2024年）4月からの医師の時間外労働の上限規制強化の影響もあり、**今後、救急医療現場の更なるひっ迫が懸念**される状況となっています。

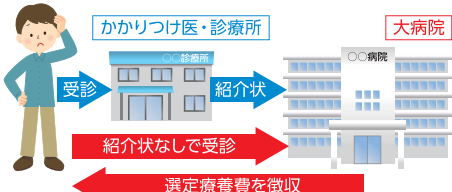


## このままの状況が続くと…

- ▶真に救急医療を必要とする緊急性の高い患者に医療を提供できず、**救える命が救えなくなる事態**が懸念されます。
  - ▶茨城県では重篤な救急患者の受入れなど、大病院が本来の役割を果たし、本県の救急医療体制を維持するため、救急車で搬送された方のうち、**救急車要請時の緊急性が認められない場合は、下記の対象病院において選定療養費を徴収いたします。**
- ※救急車による搬送が必要な緊急性のある症状については、引き続き、選定療養費を徴収しませんので、緊急の場合は、これまで通りためらわずに救急車を要請してください。

## 選定療養費とは

- ▶医療機関はその機能・規模により地域で担う役割が異なりますが、「とりあえず大病院を受診」という傾向になりやすく、一部の大病院に外来患者が集中し、患者の待ち時間や勤務医の外来負担等の増加が課題となっていました。
- ▶このため、平成28年度（2016年度）から、紹介状を持たずに大病院を受診する場合には、一定の負担（選定療養費）を患者に求めることが義務化されました。



| 開始時期                   | 令和6年（2024年）12月2日（月） 午前8時30分から                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象病院<br>（22病院）<br>※県不同 | <b>【水戸市】</b> 総合病院水戸協同病院、水戸赤十字病院、水戸済生会総合病院<br><b>【笠間市】</b> 茨城県立中央病院 <b>【茨城市】</b> 水戸医療センター <b>【日立市】</b> 日立総合病院<br><b>【ひたちなか市】</b> ひたちなか総合病院 <b>【東海村】</b> 茨城東病院 <b>【神栖市】</b> 白十字総合病院<br><b>【土浦市】</b> 総合病院土浦協同病院、霞ヶ浦医療センター<br><b>【つくば市】</b> 筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、筑波記念病院、筑波学園病院<br><b>【龍ヶ崎市】</b> 龍ヶ崎済生会病院 <b>【取手市】</b> J Aとりで総合医療センター <b>【阿見町】</b> 東京医科大学茨城医療センター<br><b>【牛久市】</b> 牛久愛和総合病院、つくばセントラル病院<br><b>【筑西市】</b> 茨城県西部メディカルセンター <b>【境町】</b> 茨城西南医療センター病院 |
| 対 応                    | 初診時に紹介状なしで上記病院を受診すると選定療養費の支払いが必要となります。 <b>救急車で搬送された方についても、救急車要請時の緊急性が認められない場合には、上記病院において、選定療養費を徴収いたします。</b><br><b>【徴収の対象外となる場合】</b><br>○再診の場合（当該医療機関により再診と認められる受診であって、他の医療機関への紹介を受けていない場合に限る）<br>○国・地方の公費負担医療制度の受給対象者の場合（一部例外あり）<br>○無料低額診療事業の対象患者の場合 ○H I V患者の場合（上記のうちエイズ拠点病院に限る）<br>○その他、国の法令等に基づき、医療機関により徴収の対象外とされている場合                                                                                                                                 |
| 料 金                    | 筑波大学附属病院は13,200円、総合病院土浦協同病院、筑波メディカルセンター病院は11,000円、白十字総合病院は1,100円、その他は7,700円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

## Q&A

- Q1** 茨城県の救急医療の現状を教えてください。  
**A1** 近年、救急搬送件数は増加傾向にあり、その6割以上が大病院に集中し、うち約半数は軽症患者が占め、中には緊急性の低いケースも見受けられます。今後、救急医療現場の更なるひっ迫が進めば、真に救急医療を必要とする方へ医療を提供できなくなる事態も懸念されます。
- Q2** 緊急性が低いと思われる場合は、どのように医療機関を受診すべきですか？  
**A2** とりあえず救急車を呼ぶのではなく、まずはかかりつけ医や地域の診療所等の一般外来を通常の診療時間に受診してください。必要な場合には、かかりつけ医等が大きな病院を紹介します。医療機関の役割に応じた適正受診にご理解・ご協力ををお願いします。
- Q3** 緊急性が低い場合は、救急車で搬送してもらえないのですか？  
**A3** 救急隊は、患者から搬送を拒否された場合を除き、搬送することとされています。
- Q4** 救急車を呼ぶべきか判断に迷う場合は、どうしたらよいですか？  
**A4** 判断に迷う場合は「茨城県救急電話相談」へご相談ください。おとな（15歳以上）の相談は#7119に、子ども（15歳未満）の相談は#8000に電話をお掛けください。
- Q5** 救急車を有料化することですか？  
**A5** **救急車の有料化ではありません。** 既存の選定療養費制度の運用を見直し、救急車で搬送された方のうち、救急車要請時の緊急性が認められない場合には、対象病院において選定療養費をお支払いいただくものです。
- Q6** どうして選定療養費を払うのですか？  
**A6** 紹介状を持たずに大病院を受診する場合には、選定療養費の支払いを求められることが国の法律等に基づき定められています。  
 本県では、令和6年（2024年）12月2日から、救急車で搬送された方についても、救急車要請時の緊急性が認められない場合には、これと同様に選定療養費をお支払いいただきます。
- Q7** 選定療養費がかからない医療機関へ搬送するよう救急隊に頼むことはできますか？  
**A7** できません。一刻を争う救急の現場では、救急隊は、患者の症状とそれに対応可能な医療機関の受入状況に応じて、搬送先を適切に選定することとなります。
- Q8** 茨城県民でなくても徴収対象になりますか？  
**A8** 茨城県内の対象病院に救急車で搬送され、救急車要請時の緊急性が認められない場合には、徴収の対象になります。

## 茨城県小児救急医療啓発サイト

# こどもの救急手引き

子どもの病気のけがは突然やってきます。  
 「こどもの救急手引き」は病院への受診の必要性や対処の方法など適切な情報が簡単に見つかるホームページです。ぜひ活用ください。



お近くの医療機関をお探しの際は…  
 医療機関・薬局の検索システム  
 厚生労働省

# 医療情報ネット

全国どこからでも、どんなときも、  
 かけたい医療機関・薬局が  
 みつかります！

医療情報ネットは、診療日や診療科目といった一般的な情報に加え、対応可能な疾患・治療内容、提供しているサービスなどさまざまな情報から、全国の医療機関・薬局を検索することのできるシステムです。



【担当課】 茨城県 保健医療部 医療局 医療政策課 電話番号：029-301-2689  
 【月～金 8時30分～正午、13時～17時15分（土日祝日、年末年始除く）】  
 メールアドレス：iryo1@pref.ibaraki.lg.jp



ホームページはこちら▼ WEBフォームはこちら▼

## 救急搬送における選定療養費が徴収される目安

- ◆救急車で搬送された際の選定療養費は、入院の有無や軽症かどうかではなく、救急車要請時の緊急性が認められない場合に対象病院において徴収されます。
- ◆例えば、熱中症、小児の熱性けいれん、てんかん発作などの症状は、病院到着時に改善し、結果として「軽症」と診断された場合でも、救急車を呼んだ時点での緊急性が認められるケースに該当するため、徴収の対象とはなりません。

## 救急車要請時の緊急性が認められない可能性がある主な事例

◆次の症状で医療機関にかかるときは、「とりあえず救急車」でなく、かかりつけ医や地域の診療所などを、通常の診療時間に受診してください。急いで受診するべきか迷った場合は、下記の救急電話相談へご相談ください。

## ア 明らかに緊急性が認められない症状

- ①軽い切り傷のみ
- ②軽い擦り傷のみ

## イ 緊急性が低い症状

- ①微熱のみ（37.4℃以下）
- ②虫に刺されたり、かまれたりした部分が赤くなり、痛いのみで、全身のショック症状（じんましん等）は見られない
- ③風邪の症状のみ
- ④打撲のみ
- ⑤慢性的な または 数日前からの歯痛
- ⑥慢性的な または 数日前からの腰痛
- ⑦便秘のみ
- ⑧何日も症状が続いていて、特に悪化したわけではない
- ⑨何となく体調が悪い、頭が重い、イライラするといった症状のみ
- ⑩眠れないのみ

## 救急車要請時の緊急性があると判断される可能性が高い主な事例

◆次の症状が見られたときは、ためらわずに救急車を呼んでください。

## 《15歳以上》

- ①物を喉に詰まらせて、呼吸が苦しい
- ②急な息切れ、呼吸困難
- ③顔色が明らかに悪い
- ④急に便に血が混ざりだした、急に真っ黒い便が出た
- ⑤意識の障害（返事がない、様子がおかしい、もうろうとしている）
- ⑥けいれんが止まらない
- ⑦支え無しで立てないぐらいに、ふらつく
- ⑧突然、周りが二重に見える
- ⑨ろれつが回りにくく、うまく話せない
- ⑩顔半分が動きにくい
- ⑪突然の顔や手足のしびれ
- ⑫大量の出血を伴うけが
- ⑬広範囲のやけど
- ⑭虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪い
- ⑮転んだり転落、交通事故で強い衝撃を受けた
- ⑯血を吐く
- ⑰突然の高熱
- ⑱突然の激しい頭痛
- ⑲胸や背中突然の激痛
- ⑳突然の激しい腹痛



高齢者



おとな

## 《15歳未満》

- ①物を喉に詰まらせて、呼吸が苦しい
- ②激しいせき、ゼーゼーして呼吸が苦しそう
- ③15秒以上の無呼吸がある
- ④唇の色が紫、顔色が青白い
- ⑤全身が青くなっている
- ⑥頭を強くぶつけて、出血が止まらない、吐いている、顔色が悪い
- ⑦急に便に血が混ざりだした、急に真っ黒い便が出た
- ⑧意識の障害（返事がない、様子がおかしい、もうろうとしている）
- ⑨けいれんが止まらない、一度止まっても24時間以内に2回繰り返す
- ⑩手足が硬直している
- ⑪刺激しても反応が鈍い、眠ってばかりいる
- ⑫意味不明の言動がある、異様に興奮している
- ⑬大量の出血を伴うけが
- ⑭広範囲のやけど
- ⑮虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪い
- ⑯転んだり転落、交通事故で強い衝撃を受けた
- ⑰突然の激しい腹痛
- ⑱繰り返し吐く
- ⑲保護者から見て、いつもと違う、様子がおかしい



こども(15歳未満)

急な病気やケガで救急車を呼ぶか迷ったら…



茨城県 救急電話相談 相談受付 24時間365日 茨城県  
[相談無料] ●通話料は利用者負担

※茨城県外にお住まいの方は、それぞれの県や市町村が運営する相談窓口をご確認ください。

おとな(15歳以上)

子ども(15歳未満)

#7119

#8000

上記でつながらない場合 050-5445-2856

人生の終わりまで、あなたは、どのように、過ごしたいですか？



# もしものときのために 「人生会議」

～自らが望む、人生の最終段階の医療・ケアについて話し合ってみませんか～

11月30日（いい看取り・看取られ）は人生会議の日

誰でも、いつでも、  
命に関わる大きな病気やケガをする  
可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、  
**約70%の方が、**  
医療やケアなどを自分で決めたり  
望みを人に伝えたりすることが、  
できなくなると言われています。

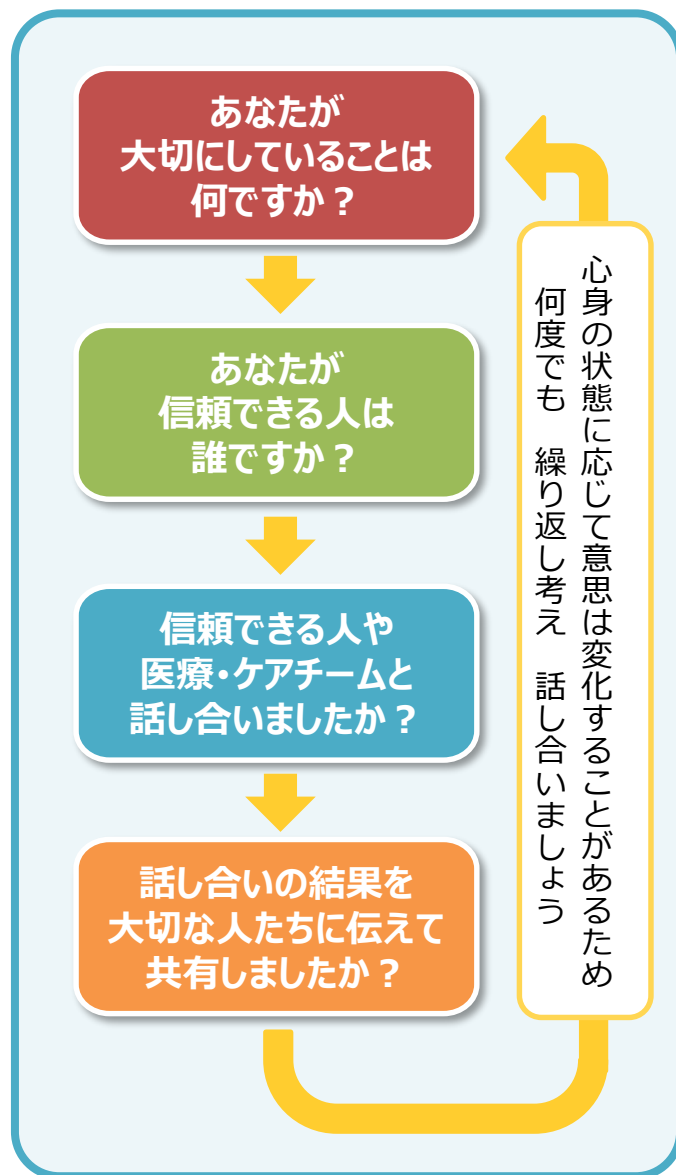
自らが希望する医療やケアを受けるために  
大切にしていることや望んでいること、  
どこでどのような医療やケアを望むかを  
自分自身で前もって考え、  
周囲の信頼する人たちと話し合い、  
共有することが重要です。



もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、  
前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を  
「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」  
と呼びます。

あなたの心身の状態に応じて、かかりつけ医等からあなたや  
家族等へ適切な情報の提供と説明がなされることが重要です。

## 話し合いの進めかた（例）



このような取組は、個人の主体的な  
行いによって考え、進めるものです。  
知りたくない、考えたくない方への  
十分な配慮が必要です。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_02783.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html)



出典：厚生労働省ホームページ

企業・医療機関・行政連絡調整会議 副会長選出事務局案

| 年度    | 期間                       | 任期       | 医療機関    | 企業                      | 備考                    |
|-------|--------------------------|----------|---------|-------------------------|-----------------------|
| R4年度  | R4.11.15                 | 2年       | 白十字総合病院 | 鹿島東部コンビナートの代表者          | (株)ENEOSマテリアル<br>鹿島工場 |
| R5年度  | ～                        |          |         |                         | (株)JERA<br>鹿島火力発電所    |
| R6年度  | R6.11.14                 |          |         |                         | 幹事会社                  |
|       | R6.11.15<br>～<br>R7.3.31 | 再任<br>期間 |         |                         |                       |
| R7年度  | R7.4.1                   | 2年       | 神栖済生会病院 | 西部地区<br>企業連絡協議会<br>の代表者 |                       |
| R8年度  | ～<br>R9.3.31             |          |         |                         |                       |
| R9年度  | R9.4.1                   | 2年       | 白十字総合病院 | 波崎地区<br>企業連絡会<br>の代表者   |                       |
| R10年度 | ～<br>R11.3.31            |          |         |                         |                       |

・医療機関については、神栖産業医トレーニングセンターが設置されている白十字総合病院及び神栖済生会病院の2者により交互に選出する。

・企業については、鹿島東部コンビナート、西部地区企業連絡協議会、波崎地区企業連絡会の順番で2年交代とする。

・副会長の任期を年度の切り替えと一致できるよう、令和6年11月15日から令和7年3月31日の期間については再任期間とし引き続いて白十字総合病院及び鹿島東部コンビナートにおいて副会長を勤めいただき、令和7年4月1日から新たに2年をスタートできるようにする。